

第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	第2回武蔵村山市市民協働推進会議
開 催 日 時	平成26年4月24日（木）午後6時 ～ 8時30分
開 催 場 所	教育センター集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：（委員）渡辺龍也、北口良夫、高橋茂明、鴻田臣代、瀬口圭志、中村政義、本間由美子、前田啓子、比留間毅浩、山田行雄 一般参加者：3名 （事務局）協働推進課長、協働推進課主査、協働推進課主事
報 告 事 項	平成26年度第1回武蔵村山市市民協働推進会議について
議 題	議題1 平成25年度武蔵村山市協働事業提案制度実施事業報告会及び評価等について 議題2 事業評価について 議題3 次回以降の会議の開催日程について
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1 平成25年度武蔵村山市協働事業提案制度実施事業報告会及び評価等について 事業実施団体から事業の報告を行い、各委員から事業について質疑応答を行った。 議題2 事業評価について -非公開- 報告書については、事務局で各委員の意見を取りまとめて後日各委員に送付し、内容の確認を行う。その後の修正については、座長及び副座長に一任する。 議題3 第3回会議は7月17日（木）午後6時から開催する。 第4回会議は9月22日（月）午後6時から開催する。 第5回会議は9月25日（木）午後6時から開催する。 第6回会議は9月29日（月）午後6時から開催する。 いずれの会議も、開催場所については後日各委員に通知する。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) (発信者) □印：座 長 ○印：委 員 ●印：事務局 △印：提案団体 ▲印：協働担当課 ◎印：一般参加者	報告事項 平成26年度第1回武蔵村山市市民協働推進会議の会議録について ● -第1回会議の会議録について説明- -配布資料について説明- 議題1 平成25年度武蔵村山市協働事業提案制度実施事業報告会及び評価等について (平成25年度武蔵村山市協働事業提案制度実施事業報告会) 団体名：グラシオスプラントパートナー 事業名：小学生への花育と豊かな環境作り -実施団体による報告-

質疑応答

- 学校へのアンケートについて詳しく説明していただきたい。
- △ どのような趣旨の事業かを学校に説明し、どのような花をどのような場所に植えたいか意見を聞いた。
- 事前調整ということか。
- △ そのとおり。事業後にもアンケートを取る必要があったと感じているので、今年度は実施する。
- 今年度は違う学校で行うのか。
- △ 学校側の意見を聞く。
- 学年については学校から要望があるのか。
- △ そのとおり。
- 人件費が高額だが、内訳は。
- △ 1人5,000円で、実施回数と人数をかけて計算した。実際はもっと費用がかかっている。
- 昨年度実施した事業は、今年も継続しているのか。
- △ 訪問はしていないが、雷塚小では自主的に継続している。
- 他の学校では継続していないのか。
- △ 一小は今年100周年ということで、それに合わせて花を植えてほしいと依頼があった。また、一小は人権教育のモデル校に指定されていることから、その一環としても花の栽培をしたいと依頼があった。二小は昨年度行ったヒマワリ畑を今年度も継続すると聞いている。要望があれば協力すると約束している。
- 収支決算書に消耗品が2つあるのは。
- △ 花の種や土、プランター等、学校で使用するものと、スコップやエプロン等、スタッフが使用するもので分けた。
- 団体育成型として2年間実施し、事業は順調であるが、将来的には協働型を目指すべきである。団体として充実した点は。
- △ 会員が10名程増加する予定であるが、今後事業を幅広く行っていくには会員数が足りないので、市報等で募集したい。
- 事業を通じて、子ども達の反応は。
- △ 校長先生からは、喜びの声が多数あったと聞いている。事業後にアンケートを実施して、子ども自身の声を聞くべきだった。
- 今年度は是非アンケートを実施してもらいたい。
- 各校のPTAと連携していくような計画はあるのか。
- △ 昨年度は花を家庭に持ち帰る等、家庭も巻き込んでの事業となった。今年度は公開授業等で保護者と一緒に行くことも検討している。
- 参加児童が増加した、PTAや保護者の間で話題になっている等の情報はあるのか。
- △ 統計を取っていないのでわからない。
- どれくらいの児童が参加したのか。
- △ 一小が60名、二小が80名、三小が25名程度である。児童の意識や保護者の評判については、今年度はアンケートを実施して確認したい。
- 三小の栽培委員会は、事業を実施する前から存在していたのか。
- △ そのとおり。
- 事業の結果、栽培委員会ができた学校はあるのか。
- △ 今のところ聞いていない。
- 自己評価書の中で欠点についての記載があるが、具体的にどのような欠点があり、どのように改善したのか、詳しく説明していただきたい。

い。

- △ 初年度は、夏休み前に花を植え、夏休み後には枯れていた学校があった。花によって咲く長さは違うので、初年度の経験を踏まえ、今回は10月から4月に咲く花を植えた。また、子ども達に持ち帰らせることで、家庭も巻き込んで事業を実施することができた。
- 自己評価書の協働についての記載は、学校との連携のことか。
- △ 教育委員会のことである。学校との窓口になっていただいた。
- 細かい手入れ等、花を育てるのは大変だと思う。場所を確保し、花が枯れたら種を取ってまた植える等、何年も継続していただきたい。

団体名：朗読グループ いるか会
事業名：小学生の為の朗読体験教室
市担当課：教育指導課

-実施団体による報告-

質疑応答

- どの活動を何回行ったのか、詳しく説明していただきたい。
- △ 朗読体験教室は、市内の全小学校で1回ずつ、計9回行った。八小のふれっチャ・クラブでは、朗読パフォーマンスクラブを開設し、前期と後期合わせて24回の朗読教室を行った。同クラブでは、最後に発表会を実施する予定であったが、降雪により中止となってしまったため、後日体育館で発表会を行った。
- 八小だけ朗読パフォーマンスクラブを開設し、発表会を行ったのか。
- △ そのとおり。事業の計画は、全小学校での朗読体験教室の実施、八小の朗読パフォーマンスクラブの開設、八小児童による市民会館での発表会の3点だった。
- 最初から、発表会は八小だけが行う計画だったのか。
- △ そのとおり。朗読体験教室を1回実施しただけでは、発表会は難しい。
- 講師が体調不良により継続できないとあるが、他の講師を呼ぶ等の考えはないのか。
- △ いずれはそのようにできればと考えているが、団体としても意見がまとまっておらず、今年度は活動を休止することにした。
- 八小のふれっチャ・クラブの活動はどうするのか。
- △ 講師がいないので活動できない。
- 団体のメンバーが講師を務めることはできないのか。
- △ 発表会を実施するためには、プロの指導がなければ難しい。
- 八小からは、継続を望む意見はないのか。
- △ ふれっチャ・クラブは、半期ごとにメンバーが変わるシステムであり、そのような意見はなかった。
- 子ども達の反応も良く、事業の成果も出ている中で休止してしまうのはもったいない。
- 団体がクラブをサポートしながら継続していき、講師が見つければ講師を呼ぶのが望ましい。
- 八小を選んでクラブを開設した理由は。
- △ 教育指導課と相談していく中で決定した。

- 活動休止について、教育指導課の意見も伺いたい。
- ▲ ふれっチャ・クラブは、ふれあいチャレンジタイムという活動を前身としている。地域の方を講師に迎え、放課後に体験教室を開く等、地域の方々と触れ合いながら教育を行う主旨の活動であった。このふれあいチャレンジタイムを学校のクラブ活動と合わせ、ふれっチャ・クラブを開設した。本事業については、地域による教育という意味から、八小のふれっチャ・クラブを対象にすることが適切であると考えた。今回の事業は子ども達にとって非常に成果のあるものだったと感じている。次年度の休止については事前に聞いており、地域の先生の都合により継続できない場合もあるので、残念だが仕方のないことと考えている。
- 活動の成果についてはどう考えるか。
- ▲ 朗読体験教室については、本市の取り組む小中学生の言語能力の向上と主旨が合致しており、教師ではなくプロの方の指導を受けたという意味では非常に意義があるものだったと考えている。ふれっチャ・クラブについては、人前で発表することにより、子ども達が物事に対して自信を持って臨むことができるようになったと感じている。
- 教師が朗読の楽しさを学び、授業に生かすことが大事とあるが、これはどのようなことか。
- △ 朗読の勉強会を3回に渡って行い、先生にも参加していただいたので、その経験が生かせるのではないかと考えている。
- 教師は何人が参加したのか。
- △ 市民も含まれているので教師の数はわからないが、全部で15名程度である。
- 感想文を呼んだが、子ども達の成長が伺え、非常に効果があったのではないかと考える。
- △ いきなり長い文章を読ませるのではなく、短い詩から触れさせるようにした。
- 収支決算書の中に、楽器の購入とあるが、用途は。
- △ 楽器を使いながらリズムに合わせて朗読することで、声を出しやすくした。
- 活動を休止するということだが、購入した備品はどうするのか。
- △ 図書館でのボランティア活動等に使用しようと考えている。
- 購入した備品の有効活用も含め、いずれまた活動してもらいたい。
- 教育指導課の役割は、ふれっチャ・クラブと団体の調整か。
- ▲ そのとおり。また発表会の広報等、開催の準備を行った。
- △ 大雪で行動できない時等、大変助かった。
- 教育指導課としては、今後も継続していきたいか。
- ▲ 八小のふれっチャ・クラブで行っていくかは分からないが、他の学校も含め、何らかの形で継続していきたい。

議題2 事業評価について

- 本会議では、審査に係る審議又は協議は非公開情報として扱うので、ここからは非公開とする。

-ここから非公開-

	<p>議題3 次回以降の会議の開催日程について</p> <p>-協議-</p> <p><input type="checkbox"/> 第3回会議は平成26年7月17日(木)の午後6時から、第4回会議は9月22日(月)の午後6時から、第5回会議は9月25日(木)の午後6時から、第6回会議は9月29日(月)の午後6時から、それぞれ開催する。</p>
--	--

<p>会議の公開・ 非公開の別</p>	<p><input type="checkbox"/> 公開 傍聴者： <u>3</u> 人</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 一部公開</p> <p><input type="checkbox"/> 非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p style="font-size: 2em;">(</p> <p style="padding-left: 2em;">武蔵村山市情報公開条例第8条第4号に定める情報のため。</p> <p style="font-size: 2em;">)</p>
-------------------------	--

<p>会議録の開示・ 非開示の別</p>	<p><input type="checkbox"/> 開示</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等：武蔵村山市情報公開条例)</p> <p><input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等：)</p>
--------------------------	---

<p>庶務担当課</p>	<p>生活環境部 協働推進課 (内線： 242)</p>
--------------	-------------------------------

(日本工業規格A列4番)